

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2025年 7月 30日

(宛先)
滋賀県知事
三日月 大造 様

提出者
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
大阪府大阪市中央区大手通3丁目2番27号

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
大塚食品株式会社 代表取締役社長 池内 呉郎
(代理人)滋賀工場長 前田 和彦

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項 の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	大塚食品株式会社 代表取締役社長 池内 呉郎
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	大阪府大阪市中央区大手通3丁目2番27号

1 事業所の概要

事業所の名称	大塚食品株式会社 滋賀工場								
事業所の所在地	滋賀県湖南市高松町6番地6								
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	0	1	1	※ 産業分類・細分類名称を記載 清涼飲料製造業			
事業の概要	清涼飲料製品及び加工食品の製造								
従業員の数	81	人	操業時間	24	時間/日				
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者							
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者							
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者							
主要な設備	ボイラ	5	台	熱源設備	21	台	照明設備	1747	台
	コンプレッサ	8	台	空気調和設備	243	台	その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	R4(2022)	年度	報告対象年度	R6(2024)	年度
	終了年度	R10(2028)	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

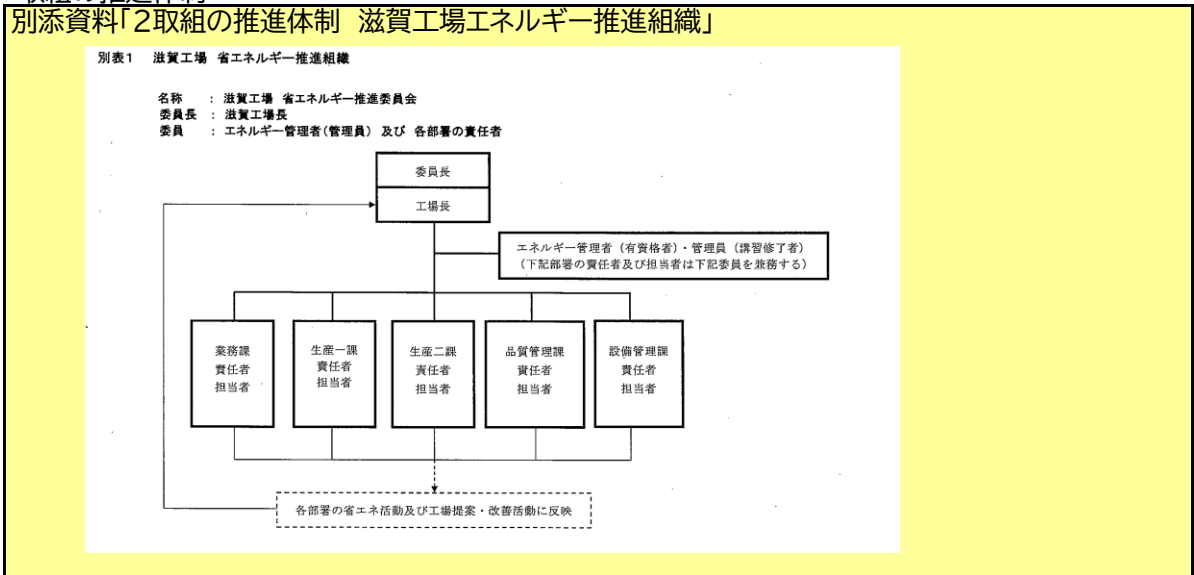
計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

大塚食品株式会社 環境目標】
 ①カーボンニュートラル
 2028年までに
 ・2017年比でCO₂排出量(Scope1,2)を実質50%削減(CO₂フリー電力、クレジット等の環境価値証書による削減ではなく、実質的な削減を目指す)
 ・再生可能エネルギー20%導入
 2050年までに
 ・Scope3カーボンニュートラル

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- ・2023年4月より大塚ビジネスサポート株式会社(以下、OBSC)と「非化石価値取り扱いに関する契約」を締結。大塚食品滋賀工場での電力量実績を基にOBSCが非化石証書を購入し、大塚食品滋賀工場へ提供することとなった。これにより大塚食品滋賀工場の電力使用によるCO₂排出量がゼロになりました。
- ・2021年水管ボイラ1台*10t、貫流ボイラ4台(3台*2t・1台*1.2t)から貫流ボイラ3t*5台へ更新
- ・2023年度照明LED化(190台更新済み)
- ・2023年5月加工工場棟の空調用温水の熱源を、蒸気からヒートポンプによる加温に変更。
- ・ボイラ空気比調整(1月・7月/年。継続実施)
- ・2024年2月蒸気配管へ保温カバー取付け
- ・2024年5月加工工場棟空調温水用HPに台数制御導入。同12月空調冷水用HPに台数制御導入。

これらの取り組みにより令和6年度(2024年度)までにCO₂排出量を2017年度比34%削減(実質値)。(非化石証書採用の場合2017年度比87%削減)

- ・2022年4月にコンサルタント会社による省エネポテンシャル診断を受診。
 1、ボイラの空気比改善(対応済) 2、飲料コンプレッサの最適運転 3、加工空調用チラーの運用改善(対応済) 4、非稼働時の電力量削減 をご提案頂いた。省エネ検討事案として対応中

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	逆洗ポンプダウンサイジング	R6年度	計画通り実施済
2	運用改善	電力の見える化(WHM設置)	R6～7年度	R6年分実施済み R7年分計画中
3	°Dts改善	熱風発生装置省エネ対策1期工事	R7年度	計画中
4	°Dts改善	熱風発生装置省エネ対策2期工事	R8年度	計画中
5	運用改善	加工工場電気室トランス更新	R9年度	計画中

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1		フロン類の確実な回収及び破壊への協力	R4～R7年度	実施中
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>上記の取組等により、前年度(令和5年度)を基準年として、以下の数値目標の達成を目指します。</p> <p>原単位「原油換算量(kL)÷生産重量(千ton)」で毎年1%削減</p> <p>原単位設定の考え方は以下の通り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原油換算量(エネルギー使用量=CO₂排出量)は生産量の増減に左右される為、原単位指数(分母)を生産量に設定。 	<p>【令和5年度】</p> <p>上記取組みによりエネルギー使用量の削減につながった。原単位が令和4年度比73.1%(▲26.9%)の改善となった。</p> <p>【令和6年度】</p> <p>生産量の減少の影響で、原単位の改善にはつながらなかった。原単位令和5年度102.2%(2.2%悪化)</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		(R4)年度	(R5)年度	(R6)年度	()年度	()年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	1,974	1,732	1719/1564	1,580		
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	3,080	2,325	2,585	1,984		
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	3,080	2,325	2,585	1,984		
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		198.600	240.900	旧係数/新係数 193.6/176.1	179.900		

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	電力実績を基に非化石証書を購入(R6年4月～10月)	R6年度	電力は関電より需給。非化石証書を大塚ビジネスパートナー(株)より購入
2	非化石証書付き電力の購入(R6年11月～R7年3月)	R6年度～	大塚ビジネスパートナー(株)と電力需給契約開始
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	非化石証書付き電力の購入
2	大塚食品(株)において再生可能エネルギー20%導入
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(R4)年度	(R5)年度	(R6)年度	()年度	()年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	894	673	622	606		
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂	0	673	622	606		
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh	0.000	0.000	0.434	0.422		
特記事項	R3～R4は関電再エネエコプランを契約。R5(2023年)4月より非化石証書購入の為、電気使用量分は0t-CO ₂ としました。						

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	項目	単位	計画開始年度 前年度の 保有台数	実績報告				
				(R4)年度	(R5)年度	(R6)年度	()年度	()年度
	保有車輛の数	台	1	1	1	2		
	上記のうち 次世代自動車等の 数	台				2		
	特記事項	R6(2024年)度社用車をハイブリッド車に更新。及び1台追加						

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	環境マネジメ ントシステム (EMS)	3か月/回の周期でエネルギー環境会議を開催し、エネルギー使用状況を各部署と情報共有実施	R6年度	計画通りに実施中
2				
3				
4				
5				